

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付 委員会名
4 年 第 3 7 号	4. 9. 5	<p>環境過敏症の観点からの消毒剤の有害性と安全な方法の社会的周知および環境改善を求める陳情</p> <p>消毒剤（アルコール、その他）は有害である。社会的に、アルコール消毒も害があるという認識が無いままコロナ対策で推奨され、アルコール消毒の害があちこちに溜まり、子供だけでなく環境過敏症（化学物質過敏症(CS)、アルコール過敏症、その他）の多くの人々が苦しんでいる。10 人に 1 人は何らかの化学物質に対して過敏症状があると言われている。大人でもアルコールが全く飲めない（合わない）人も大勢いるが、そういった人たちの多くはアルコール過敏症であろう。環境過敏症の人たちは、アルコールの臭いや成分で、息苦しさ、頭痛、関節痛など、症状は人にもよるかもしれないが、健康被害を受ける。さらに、有害な臭いや成分が、充満して空気環境を汚染し、いろいろな物に付着して物品も汚染する。自分ではしなくても、他人が有害な消毒をすることによって、健康被害だけでなく、そこにいられなくなるという人権侵害も受けるのは、理不尽である。</p> <p>この陳情では、環境の改善を社会全体に求めるため、コロナ対策として安全で効果的な方法、消毒剤の有害性、被害を無くしていくための安全な方法を説明し、あらゆる関係各位（医療機関・教育機関・公共施設・店舗・会社等の事業者や個人）に対処をお願いする。化学物質の生物影響は個人差が大きいので、一番敏感な個人を守るように基準が設定されることは、化学物質影響評価の常識である。環境が有害にならないよう環境改善を行い、誰もが安心して過ごせる環境になるよう、社会的に取り組むべきである。茨城県議会には、消毒剤の有害性と安全な方法を社会的に周知して、関係各位が環境改善の対処をすることと、厚生労働省が保健所等の関係機関に環境負荷を減らす対処をするよう通達を出すこと等の働きかけをお願いする。</p> <p>1. 新型コロナウイルスの安全な感染予防法</p> <p>① マスク（除菌剤不使用）の着用と、3密を避ける。</p> <p>② 人肌は、石けんで 10 秒もみ洗いし、流水で 15 秒すすぐ手洗いをする。詳しくは、参考資料のインターネット 3）を見てほしい。</p> <p>③ 物品（食器・箸など）は、80 度の熱水に 10 分間さらして消毒する。テーブル・ドアノブなどの物品は、石けんを用いてよく拭き取る。</p>	個人	総務企画

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付 委員会名
		<p>※人肌・物品用の石けんは、天然の純石けんで十分有効である。</p> <p>④ 空間対策は、2方向の窓を、1時間に2回以上、数分間程度全開し、こまめに換気する（外の空気が汚染されていない場合に限られる）。</p> <p>⑤ 十分な睡眠、バランスの良い食事、適度な運動、あまり心配し過ぎないことで、免疫系がアップする。</p> <p>2. 消毒剤の注意点</p> <p>子供では、店舗などで、飛び散った手指消毒用アルコールが目に入り、目に障害を起こしたケースが多数報告されているため、消毒剤を子供の目線に置いてはいけない。消毒剤は人体にも毒性があるため、空間噴霧をしてはならない。</p> <p>3. 消毒剤の成分の有害性</p> <p>① アルコール類</p> <p>エタノールは、ウイルスの膜を壊すことでウイルスを無毒化するが、人体毒性がある。メタノールは中枢神経毒性、生殖毒性、目刺激性（失明に至る場合もある）、人体への毒性が強いため、手指の消毒には絶対に使用してはならない。アルコールに敏感な人は避けること。</p> <p>② 次亜塩素酸ナトリウム</p> <p>塩素系漂白剤の成分で、酸化作用などにより新型コロナウイルスを破壊し無毒化するが、皮膚腐食性・目刺激性・呼吸器刺激など人体毒性があるため、手指消毒には使用しない。酸性のものとは「混ぜるな！危険」である。厳重な注意と管理が必要である。</p> <p>例を挙げる。北海道の飲食店で、同僚がトイレ清掃の際に消毒剤（主成分は次亜塩素酸ナトリウム）を希釈せず原液のまま吹き付けたのを拭き取る作業をした従業員が化学物質過敏症（CS）を発症した。2021年9月に札幌高裁で、次亜塩素酸ナトリウムの拭き取り作業の業務によってCSを発症したことに「医学的矛盾はない」とし、因果関係を認め、労災認定を受けた。</p> <p>③ 塩化ベンザルコニウムなど第4級アンモニウム塩</p> <p>界面活性剤が新型コロナウイルスの膜を壊すことでウイルスを無毒化するが、吸入による急性毒性、皮膚・目・呼吸器に対する毒性・アレルギー性皮膚反応を起こす恐れがある。手指用の製品以外は手指や皮膚に使用しない。</p> <p>④ 次亜塩素酸水</p>		

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
		<p>一定濃度の次亜塩素酸水が一定濃度の新型コロナウイルスの感染力を一定程度減弱させるが、有害なため、厳重な注意と管理が必要である。塩素に敏感な人は避けること。酸性のものとは「混ぜるな！危険」である。</p> <p>⑤ 二酸化塩素 新型コロナウイルス対策として消毒に使うことの有効性は確認されていない。</p> <p>⑥ その他の成分 いずれも有効性や安全性は不明である。</p> <p>4. 有害な「消毒剤」による人体への悪影響 新型コロナウイルスを失活させる消毒剤は、ウイルスの脂質膜やたんぱく質を壊すことで有効性を発揮するが、人間の細胞膜やたんぱく質も壊す可能性がある。手指の消毒をしすぎると、手指の皮膚を保護している常在菌が失われ、肌荒れやアトピー性皮膚炎を引き起こし、肌荒れや傷があるとそこからウイルスが侵入して感染するリスクが高まる。口腔内にも有益な常在菌が数多く存在しているが、消毒剤を用いたうがいをしすぎると、有益な常在菌が減少し、口腔内の粘膜が損傷して、感染のリスクを高める。感染を予防するためには、消毒ではなく、自らの免疫系を強化することが重要である。 消毒剤を多用すると、慢性閉塞性肺疾患を発症するリスクが 25～38%上昇することが、米国で女性看護師 7 万人以上への調査で明らかになり、消毒剤を日々空気中から吸い込むことの危険性を示している。</p> <p>5. 消毒剤の害の減らし方</p> <p>① 換気する（外の空気が汚染されていない場合）。</p> <p>② 脱臭機は、臭いの吸収型は良いが、余計な臭い（合成香料臭や次亜塩素酸など）を排出するものは有害である。</p> <p>③ 干す（天日干しや陰干し）。何がどの程度落ちるかは、物や汚染の程度と期間にもよる。</p> <p>④ 洗う。例えば、衣料品を購入してきて、アルコール消毒の臭いや成分が付着していた場合、水洗いして干してから着用する。</p> <p>⑤ 掃除する。ナチュラルクリーニングが良いが、アルコール消毒の説明が含まれている場合もあるので、環境過敏症対策としては、アルコール消毒は止めて、それ以外の安全な方法を参考にすると良い。</p>		

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付 委員会名
		<p>6. 安全な方法：ナチュラルクリーニング</p> <p>【1】用意するもの ※香料や添加物など、余計なものが入っていないものを選ぶ。</p> <p>(1) 石けん（アルカリ性） 除菌効果もある※。原料は油脂で、成分は、脂肪酸カリウム、脂肪酸ナトリウム、石けん素地、カリ石けん素地などである。（カリ石けん素地の成分を、ラウリン酸K、ミリスチン酸K、パルミチン酸K、ステアリン酸Kなど、より詳細に表記しているメーカーもある。） 〈石けんと合成洗剤の見分け方〉 石けんは、合成洗剤とは成分が全く異なる。 [合成洗剤は、石油や動物性油脂を化学合成して作られており、合成の界面活性剤が含まれている。成分は、ラウリル硫酸ナトリウム、直鎖アルキルベンゼン、アルキルエーテルなどのカタカナや、AE、LAS など、分からない名前がいっぱい書かれている。合成成分の危険性については、6月の陳情「環境負荷を減らす方法の社会的周知」を見てほしい。]</p> <p>(2) 重曹（弱アルカリ性） 消臭効果もある。成分は、炭酸水素ナトリウム、重炭酸ソーダなどである。人体には「食用」、掃除には「工業用」を使う。</p> <p>(3) セスキ炭酸ソーダ（アルカリ性） 成分は、セスキ炭酸ソーダである。</p> <p>(4) クエン酸（酸性） 抗菌効果もある※。でんぷんを発酵させたもので、成分は、クエン酸である。塩素系とは、「混ぜるな！危険」である。 ※除菌は、細菌の数を減少させることで、抗菌は、細菌の増殖を抑制することである。</p> <p>(1)～(4)は、どれもが自然界にそのまま存在する成分で、水と地球環境、人にもやさしい。多くのお店で多くのメーカーの商品がある。</p> <p>【2】汚れの性質と洗剤（酸性とアルカリ性） 酸性の汚れは、食器などの油汚れ、手垢、汗など、家の中の汚れは酸性が多い。アルカリ性の汚れは、水垢、カルキ、鍋の黒ずみなどである。酸性の汚れはアルカリ剤で、アルカリ性の汚れは酸性剤で中和させると落とせる。石けんカスはク</p>		

受理番号	受理年月日	件 名 及 び 要 旨	提 出 者	送 付 委員会名
		<p>エン酸で落とせる。</p> <p>【3】使い方 (1) の石けんは、固形・粉・液体・泡など様々な形状があり、人肌・食器・衣類など用途によって使い分ける。使用後は洗い流す。 掃除用の拭き取り式の石けん（アルコール・香料・合成界面活性剤不使用）もある。大学との共同研究で、天然石けん成分の脂肪酸カリウム的一种である「オレイン酸カリウム」が、高い抗ウイルス効果を有することが実証されている。新型コロナウイルスにおいても、99.99%以上、ウイルスを不活化することが判明している。素材によって使えるものと使えないものがある。乾拭きだけでも使えるが、水拭きした方が石けんはよく取れる。使い方の説明をよく理解すること。 (2)～(4)は粉であり、水に溶かして、物品をつけ置き洗いをしたり、スプレー容器に入れて汚れや布に吹きかけて掃除する。</p> <p>【4】具体的な方法を知る方法 ① 「商品の裏面表示」を読む。注意事項も含めて、よく理解すること。 ② 「メーカーの説明」も参考になる。上記商品のメーカーのHPにナチュラルクリーニングの詳しい説明がある場合もあるし、お問い合わせ窓口でメールやフォーム、電話、FAX等で問い合わせると教えてもらえる場合もある。 ③ 「本」を活用するのも良い。参考資料の本1) 2) は、具体的な実践方法も説明されている。 ※2) は、多様な方法が紹介されているが、安全性の確認が取れない方法は止めること。</p> <p>おわりに 他人が有害な消毒をすることによって被害を受けることがないように、一人一人が消毒剤の有害性を認識し、社会全体で消毒剤の被害を無くしていく対処をすべきである。茨城県議会には、あらゆる関係各位が上記の問題と方法を認識して環境改善の対処をするよう、働きかけをお願いする。</p> <p>参考資料 <本></p>		

受理番号	受理年月日	件名及び要旨	提出者	送付 委員会名
		<p>1) 坂部貢「家庭でできる身のまわりの化学物質から家族を守る方法」PHP 研究所</p> <p>2) 神聡子「危険な化学物質から子どもを守る暮らし方」じゃこめてい出版</p> <p>3) 水野玲子「香害は公害」ジャパンマシニスト社</p> <p>4) 水城まさみ・小倉英郎・乳井美和子 著、宮田幹夫 監修「化学物質過敏症対策」緑風出版</p> <p><会報></p> <p>1) 化学物質過敏症 (CS) 支援センター会報 第 123 号 p. 1-2 「化学物質過敏症の発症を労災と認定」</p> <p><インターネット></p> <p>1) 日本消費者連盟 ポスター「香料自粛のお願い」 https://nishoren.net/wp/wp-content/uploads/2017/11/8f7f0f92ce2144873ad9d308a7c5ca4e.pdf</p> <p>2) 日本消費者連盟 HP 新着情報 2021 年 12 月 14 日プラスチック～政省令～共同提言の参照先 ※18 アンケート結果 東京農工大学 高田秀重教授のコメント (日本消費者連盟「ストップ! 香害」 p. 30-31 にも掲載) https://nishoren.net/wp/wp-content/uploads/2020/06/ale79d761ab1852698798cc92b172db8-l.pdf</p> <p>3) 「! 手洗い」厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000593494.pdf</p> <p>4) ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議 「新型コロナウイルス対策の「消毒」についての JEPA の見解」 https://kokumin-kaigi.org/wp-content/uploads/2021/03/%EF%BC%AA%EF%BC%A5%EF%BC%B0%EF%BC%A1%EF%BC%A8%EF%BC%B0%E7%94%A8%E3%82%B3%E3%83%AD%E3%83%8A%E5%AF%BE%E7%AD%96%E3%81%AE%E6%B6%88%E6%AF%92%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6-ver.2%E3%80%80.pdf</p> <p>5) 感染症対策研究センターHP http://kansen-center.com/index.html</p> <p>その他、多数</p>		